

去る1月21日(土)、甲西文化ホールにて「防災活動内容報告会」を開催しました。119名と多くの方にご参加いただき、誠にありがとうございました。ただ、残念ながら会員の参加は41名にとどまりました。そこで、本会報は、報告会をダイジェストでご紹介し、会員の方々にもっと関心をもっていただくとともに、広く多くの方々に本会の活動を知っていただくことを目的としております。



「防災活動内容報告会」で発表していた事例は、いずれも聞きごたえのある内容で、アンケートの記述からも参加者の心に響き参考にしていただけたことがよく分かりました。

参加者数は、各区・まち協の役員さんが78名・防災士が41名でした。役員さんの参加に比べて防災士の参加が約半数であることと、役員も防災士も参加がなかった区が9自治会に上ったことは、今後の課題としたいと思えます。

実施にあたり、本部役員さんはじめ様々な方にお世話になりました。ご協力ありがとうございました。

防災活動内容報告会を開催しました。

環境整備委員長

谷口茂雄



来賓として、生田市長にお越しいただきました。



会長挨拶に続き、来賓としてお越しいただきました生田市長よりご挨拶を頂戴しました。

その後、防災士連絡会の設立経緯と趣旨、概要、令和2年度から4年度まで活動内容を報告、今後の活動と課題の報告を事務局長から行いました。

進 行 表

開会	会長あいさつ 来賓あいさつ 防災士連絡会の活動報告
事例発表	①宝来坂区 ②水戸学区 ③岩根西区
講演 閉会	「地区防災計画の作成について」

防災士連絡会の活動報告

発表者：事務局長 岸田 憲一

今後の活動と課題

■ 次年度は、役員・各委員会の改選

任期2年、2期の活動を終え、次年度は役員および委員会の改選を迎え、新たな体制での活動となります。

■ 全区からの幹事選任および幹事会の出席率向上

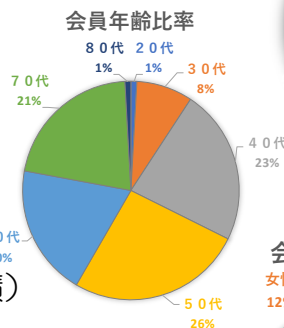
全区43区のうち、幹事が選任されているのは39区で90.7%。偶数月の第三木曜日の幹事会の出席率は62.2%（令和4年度実績）

■ 各区での地区防災計画の作成と防災士の活躍

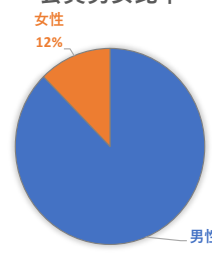
各区で地区防災計画を作成し、防災士が活躍する場を設けていくことが重要です。

■ 会員（防災士）の育成

今後も継続して防災士を育成していくことが、湖南省の防災活動を活発に推進していくカギとなります。特に若手、女性の防災士の育成が必要です。



会員男女比率



事例発表と講演内容を紹介します。詳細につきましてはホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

事例発表 ①宝来坂区

発表者：宝来坂区防災士 曾我部 修

発表内容

1. 宝来坂区について
2. 自主防災組織のあゆみ
3. ふるさと防災チーム
4. 活動事例紹介



1. 広報活動 ～防災情報の発信と共有～

- ① 防災情報紙“備えよう宝来坂”の発行
- ② ホームページの開設
- ③ アンケート調査

2. 仕組み・体制 ～隣保協働・地域の援けあい～

- ① わが家は無事です！黄色いハンカチ作戦
- ② 「避難行動要支援者」支援体制
- ③ 警戒本部活動

3. 訓練 ～いざという時のための繰り返し訓練～

- ① 我が家は無事です！黄色いハンカチ作戦
- ② ふるさと防災チーム班個別訓練
- ③ 防災トランシーバー通信・通話
- ④ DIG(図上訓練)
- ⑤ 消火栓操作訓練

4. 防災フェスタ ～来て見て体験して、触れ合ってコミュニティ形成～

5. 防災資源の整備：消火栓器具の点検・整備

今回は、私共「宝来坂区」自主防災組織の活動を、皆さま地域との情報交換もかね、湖南省43区の一つの例として発表させていただきました。取組については、発表資料にあります13事例を取り上げましたが、中でも近年は、「住民の防災に対する関心度をいかに高めるか」という課題に対し、



1)情報発信の積極化(防災情報紙の発行、ホームページの開設、防災チラシは全戸配布など)、2)全住民参画型の訓練・イベントの実施(黄色いハンカチ作戦、防災フェスタなど)に重点を置き取り組んでいます。今後とも、地域間の情報交換がすすみ、更なる地域防災力向上につながることを願っております。



講話「火災に備えて」



消火大作戦



〇×クイズ



バケツリレー競争



防災グッズ展示

事例発表 ②水戸学区

発表者：水戸学区自主防災会会長 古市泰丸様

発表内容

水戸学区自主防災組織について

1. 水戸学区の紹介
2. 自主防災会設立の経緯
3. 2022年度自主防災会の活動



水戸学区では、防災士連絡会の受け皿として水戸学区自主防災会を発足しました。水戸学区のコミュニティプランは、“だれもが笑顔でくらす街づくり”です。昨年の防災訓練では玄関先避難を行い、多くの方に参加いただきました。

2021年：湖南省防災士連絡会の受け皿として、**水戸防災士会**を発足させ活動を開始する。1回/2か月 ⇒各区分災組織から**地区全体**としての防災組織が必要。
⇒**自主防災会設立に向けて準備を開始。**

2022年4月16日に総会を開催し
水戸学区自主防災会を設立

《水戸学区コミュニティプラン》 “だれもが笑顔でくらす街づくり”

1. 住みやすい環境の街
☆いつもきれいで住みたくなる街づくり



3. ふれあいの街
☆世代を超えてふれあえる住み続けたい街づくり



2. 安心・安全な街
☆みんなが安心して暮らせる街づくり

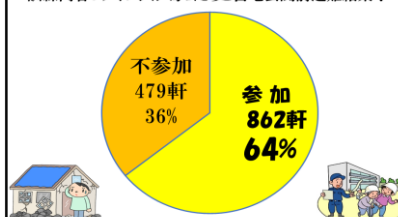


4. 支えあいの街
☆子供や高齢者が安心して暮らせる街づくり



避難訓練(玄関先避難)

訓練内容:サイレンが鳴ったらご自宅玄関前避難結果!



対象世帯:1341 参加世帯:862 約64%

10月2日(日)
AM8:00
サイレンが鳴ったら
**ご自宅玄関前(外)に
避難!!**

事例発表 ③岩根西区

発表者：岩根西区防災士 南 重利

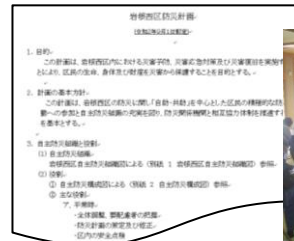
発表内容

警報発令時にとった行動

1. 自主防災立ち上げの背景
2. 防災計画作成の流れ
3. 防災計画制定と区民への説明
4. 岩根西区の特性
5. 防災訓練実施事例の紹介
6. 高齢者等避難(レベル3)以上発令時の行動



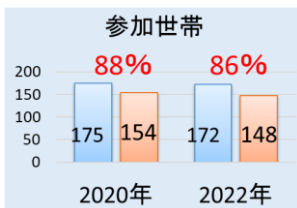
岩根西区の防災計画と説明会の様子



浸水洪水ハザードマップと大雨警報時の様子

①災害弱者の把握。②連絡体制、安否確認体制、避難所運営体制の効果的整備。③消火、救助、避難などの反復訓練。---粘り強く、ボチボチと。防災に関する普及啓発活動を行い、住民同士の連携にリーダーシップが発揮でき、地域貢献につなげたい。そんな防災士になりたいと思います。

防災訓練時の様子



講演 「地区防災計画の作成について」

講演者：情報提供委員長 喜多 一郎

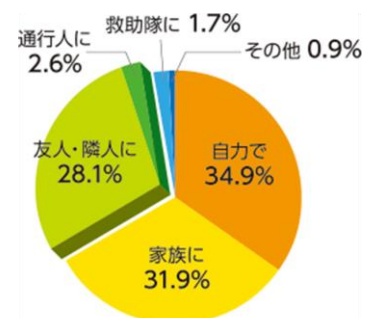


地区防災計画はなぜ必要なのか

阪神淡路大震災で家の倒壊などによる生き埋めや閉じ込められた人のうち、消防などの公的機関の救助（公助）によるものはわずか2%です。

自力や家族に加えて、隣人などの地域住民（共助）による助けあい、そして、そのための地区防災計画が重要なのです。

生き埋めや閉じ込められた際の救助



社)日本火災学会:「兵庫県南部地震における火災に関する調査報告書」抜粋

地区防災計画を作るのは難しいのでは？

地区防災計画に形（決まり）やひな型はありません。自分たちで何が必要でどうしたらいいかを話し合うことが大切です。

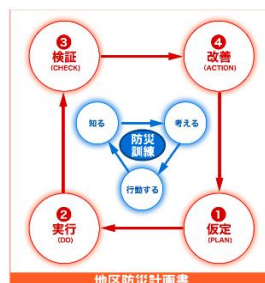
備蓄品どうする？

近所の高齢者はだれが助ける？

避難経路は？



最初から完璧な計画をつくる必要もありません。地域の防災訓練などで計画の問題点を洗い出し、洗練されたものにしていくことが重要です。



何十ページもある壮大な計画書を作る必要はありません。A4用紙1枚に収まる計画でも地域住民が話し合っ作成した計画なら立派な地区防災計画です。



大阪市西城区 地区防災計画(1枚もの)

防災活動内容報告会 アンケート結果

紙面の関係上、掲載しましたご意見の一部を掲載しております。ご容赦ください。

1 本日の報告内容で、あなたの地域の防災活動に取り入れたいことや役立ちそうな内容がありましたらお書きください。

- 活動内容や体制を見直したい
事例発表のあった地区の活動が熱心であることに驚きました。自分の地区の活動の見直しの参考にしたいです。
防災チームや制度には完成形はないと考えています。3区の発表をお聞きして、多くの参考点に気づかされました。
防災チームの組織表に防災士が入っていて参考にしたい。
 - 3つの事例発表の内容から具体的に学びたい
宝来坂区：警戒レベルの雨量判定図、防災トランシーバー、黄色いハンカチ作戦、災害対策本部の立ち上げ基準・判断、防災フェスタ
水戸学区：玄関先避難訓練、まちづくり協議会と地区役員との共同組織
岩根西区：ブロック塀等の危険要因の把握、訓練時の役割分担、高齢者避難の実施
- ◆全体に流すのではなくテーマを絞って報告してもらった方が参考にするべき点があったと思う。



2 防災士の認知度アップや活動の場の充実についてのアイデアがありましたら、何なりとご記入ください。

- 防災計画作成等、地区の防災活動に防災士が関わる
地区内に防災に熱心なリーダーがいないと活動の充実は難しいと感じました。
防災組織に一番重要でスキルを持った防災士が活躍できる組織作りが重要。
防災士さんを把握し、できる限り地区の自主防災組織の中に入れてもらうように持っていく。
 - HP等での広報活動を重視する
月刊誌「広報こなん」に組織や活動内容を掲載してアピールしてください。
ホームページなどを通しての情報の共有。まずは、防災士の役割と必要性を知っていただく。
- ◆防災士を習得されている方がなぜ入会されていないのか？
※頂きました貴重なご意見は会員間で共有し、今後の活動に活かしてまいりたいと思います。
(アンケート回収票数/参加者数：76票/119名)

新たに次の13名の方々が会員に
加わりました。

会員数240名 (2023年3月6日現在)

区名	氏名(敬称略)
三雲	青石 義和
柑子袋	副田 悦子
	森垣 富雄
石部西	谷村 コミ
近江台	薦田 豊
ハイウェイサイド タウン	江平 伸次
	田中 瞳
	柴田 栄一
湖南工業団地北	小西 秀和
湖南工業団地中	山本佐哉香
	加納 健司
湖南工業団地南	濱崎 博文
	松田 裕貴

湖南省防災士連絡会の総会を下記にて開催いたします。会員の方々のご参加ください。

日時:令和5年4月16日AM10時~11時 ※会員の方々には、詳細につきまして別途ご案内いたします。

編集後記

3月末をもちまして令和4年度の幹事の任期を迎え、情報共有委員会も次年度から新たなメンバーとなります。これまで会報をご愛読いただき、誠にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いたします。

湖南省防災士連絡会ホームページ

会員皆さまへの有用な情報の提供、情報の共有を目指しています。
ご意見、お問い合わせは、ホームページの「フォーラム」や「お問い合わせ」で。

<https://konan-bousai.com/>

